

# ちいきのなかま通信

No.72



発行日：平成31年4月2日

発行者：特定非営利活動法人 ちいきのなかま

## 統一地方選をまえに…

「ママと市議選候補予定者がキトーク」開催します。

ぜひご参加ください！

NPO法人ちいきのなかまは「ママと市議会議員候補予定者がキトーク」開催に協力します。呼びかけ人は、親子いこいの広場もくもく・NPO法人ちいきのなかま・NPO法人子どもと女性のエンパワメントさせぼ・ウイメンズさせぼの4団体。

この間の選挙ではいずれも20代～30代の投票率が低迷しています。それはとても若い人たちにとって不利なことなのですが、目的は①市政、住民自治について意識を持ち、投票行動の大切さを確認する。②立候補者を知る③エンゼルプランからスタートした子育て支援策、30年を経て今後の時代の変化を見据え見直してみる④子育て世代が市民として、誰かにお任せではなく、自分事として市政を知る…以上4点です。

今、子育て世代は全世帯の25%です。地域によっては高齢化率が高く、子育て世帯の割合はさらに少ないのだと思います。少ない上に投票に行かない人たちは政治家の人たちの視野には入らず、子育て支援施策の充実の優先順位は下がります。「みんな子育て施策の充実って言うてる」…と思うかもしれないけれど、優先順位は低いし、詳しい施策を研究する努力もしない可能性があります。だって誰にも問われないのですから…。そこで、呼びかけでは以下のことを伝えます。

○誰を選ぶかはこの次でもいい。とにかく投票に行って20代・30代の数の力を示すことが大事！！

「政治に期待が持てないから棄権する…」というけれど、棄権するということは「いない人」になるということ。なんの意思表示にもならない。選挙に参加すれば20代・30代も投票していることを示すことになる…ようやく政治家がこの世代に目を向ける。

○鉛筆転がして決めてもいいから、とにかく投票に行こう。20代・30代の投票率を上げることに大きな意味がある。

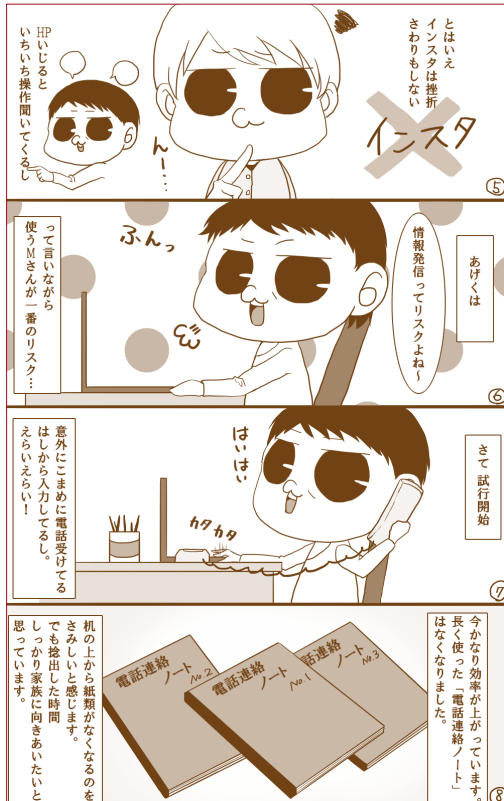
そんなふう呼びかけていきます。みなさんにもご協力いただければと思います。

選挙に関わることは遵守すべき法律もあるし、結果立候補予定者にデメリットがあるのは元も子もありませんから、ちいきのなかまもドキドキです。制約はありますが、ひとりひとりが考えて動き始める社会づくりにつながる大切な活動として短期決戦で頑張ろうと思います。参加者はだれでもOK、みなさんもぜひどうぞ。ただし事前申し込みが必要です。

いらすとでみるちいきのなかま「〇〇のこ～んなかんじ」  
ちいきのなかまの周りで起こる出来事をイラストで紹介☆

## 効率を上げるって こ～んなかんじ

by 蓮すけ



「少ない人員で結果を出す！！」ってことがNPOにもできる…いま若いスタッフがシステムの効率化をがんばってくれています。効率化の目的は、人とのコミュニケーションを質量ともに増やすことにあります。ファミリーサポートセンター事業は年々利用者数が増加しています。仕様書に「産後ケア」が加筆され、本当に小さなお子さんの対応の要望が増えています。厚生労働省からは、乳児突然死症候群やほか事故への懸念からアドバイザーによる家庭訪問やサポート中の巡回の提案されています。佐世保ではすでに全世帯ではありませんが、必要な場合は巡回を実施していますが、例えば有福町に行くと、江迎町に巡回したら半日以上の間時間がかかります。その上、事前打ち合わせが入ったら、アドバイザーはほとんど外勤、なんて事態も起こりそう。虐待やDVなど子ども子育て家庭が抱えている問題への配慮と対応も求められているいま、効率化しても業務が減ることはないかもしれません。

効率化の目的は、NPOの仕事はスタッフそれぞれが自分の時間を費やして取り組んでいます。それぞれの負担を少しでも軽減したいという事がスタートでした。まだ始まったばかりですが、かなり効果が出始めています。効率化はぜひ成功させたい近々の目標です。少なくとも、これからも起こり得るさまざまなリスクへの対応を始めることができてきていると思います。この様なことに詳しい方、ご助言、ご提案いただければと思います。

## 支援する人たちに注目！これからも支援力を高めていくために



少子社会になっているのに、この社会では子育ての仕事への評価は依然低いままです。もっと支援する人たちの評価を高めてほしい…。そう思っていた矢先、はっぴいFM「育児日記と子ども歌」（'19 3/2）という番組からファミサポの提供会員さんに出演依頼がありました。パーソナリティは津田沙耶さん、ファミサポ会員さんでもあります。

番組でのインタビューの様子をお知らせします。（一部抜粋）出演は会員のIさん、Mさん、両方ともベテランの方です。（以下インタビュー）

○提供会員になったきっかけは？

M：会員歴6年。自分の子が成長するにつれ、他のお子さんが可愛く、赤ちゃんを抱っこしたいという思いから。知り合いに紹介されて。

I：保育士をしているときに養成講座の案内を見て。子育てがひと段落し他の家庭の支援ができれば。保育士の資格も活かせる、と考えて応募しました（一期生）

○はじめてサポートに入ってみてどうでしたか？

M：緊張したが、子どもも自分に向き合ってくれた。泣いていたが家族写真を見て落ち着いた。その子の特徴、好きなことを見つければ楽しく過ごすことができると気づいた。

I：その子その子の特徴があり、早く見つけてあげる。泣くのは当たり前。不安な気持ちを取り除いて、気持ちをほぐしてあげる。

○提供会員やってよかったと思うこと

M：サポートが終了してお迎えの時にお子さんが笑っていたり眠っていて、お母さんから「預けて良かった。またお願いします」と言われた時。

I：またファミサポに行きたいとお子さんが言った時。

○サポートで大切にしている事

M：泣く子にも焦らず「大丈夫よ」と大きな気持ちで受け止めて向き合う。その子が好きな遊びを早く見つけてサポートの時間を楽しくしてあげる。

I：お預かりしている時間をいかに楽しく、けが・事故がない事が1番なので安全に気を付ける。お別れの時に泣いても、どんと構えれば子どもに伝わり落ち着く。

○子育ての現状、課題

M：今のママたちは「いい加減」じゃない、すごいと思う。お子さんの日常を把握していきちゃんと荷物準備もしている。いい情報を活用されているのかな。

I：家庭が多様化している。支援者が家庭に応じた関わり方を求められる時代。お母さんが精神面で安定してもらうことが重要になってきているように思う。

長い間活動に携わり多くの家族の問題に直面してきた支援者のキャリアの重さを実感しています。ちなみに佐世保市は、支援者のキャリアは県内トップ。全国でも上位、宝物です。



## ●これからベントや講座の予定●

よろしければ予定に書き加えていただければ幸いです。

イベントには有料・無料、託児の有無などあります。事前にお問い合わせください。

イベント名	日時	会場	内容
ぼちぼちヨガ教室	4月1・22（月） 13:50～14:50	ボランティア センター別館	定期開催 参加費¥500 会員外¥800
ガチトーク 選挙の前に	4月12日（金） 10:00～12:00	ボランティア センター別館	チラシあり
おもちゃ図書館	4月16日（火） 10:00頃から	ファミサポ事務所	参加費無料

### 寄付へのお礼

昨年度1月から3月まで取り組ませていただいた「赤い羽根共同募金 テーマ募金」に多くの方にご寄付いただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。虐待予防は妊娠中から…と「産前産後ケア」特に家事サポート、沐浴支援に取り組んでいます。昨年度中はモニター利用していた段階、今年度本格実施です。まだ歩みだしたばかりの私達への寄付は「きっと頑張ってくれる！」という信頼と期待がこめられたものだと思います。そのお気持ちを重くうけとめ、支援を形にしていきたいと思います。活動を注視していただき、事業目的を実現できますよう、今後共応援をいただければ幸いです。存じます。なお、この事業につきましても、都度都度報告会を開催いたします。ご案内をいたしますので、ぜひご意見も寄せていただければ幸いです。存じます。

### 後記

労働力不足のこの時代、「人が辞めない組織」への関心が高まっています。女性が多い職場の人間関係の難しさや、子育てや介護との両立の中で働きづらさを感じてしまうこと、働きたいけど、責任あるポジションは避けたい…から働き方をセーブしているという事もあるかもしれません。よく思うのは、ファミサポ提供会員さんがなぜこれほどまでにきちんと動いて下さるか…ということ。みんないい人だから…これは一番の理由。もうひとつ、彼女たちを突き動かしている動機を解明しようと考えています。決して好条件の仕事ではないけれど、日々きちんと対応して今日に至る。これからは地域で共助のしくみなくは大変な状況になると思います。そのときの参考になるのかもしれません。

### NPO法人ちいきのなかま

#### 入会・会員（正・賛助）会員継続のご案内



正会員：総会議決権あり 入会金¥1,000 年会費¥6,000

賛助会員：総会議決権なし 年会費¥3,000

主な特典：各種事業会員特別料金にてご優待

連絡先 NPO法人ちいきのなかま

〒857 0022長崎県佐世保市山手町9-19

携帯 090-9498-3608

E-mail:chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp

HP:<http://chiikinonakama.boon.jp/>